

会議等名	平成 25 年度 第 3 回海老名市子ども・子育て会議
日 時	平成 26 年 1 月 28 日（火） 16：00～17：00
場 所	海老名市役所 7 階 706 会議室
出席者	委 員：鍛冶 邦彦 委員長、久保 由美 委員、大貫 望 委員、小島 良之 委員、櫻井 慶一郎 委員、山田 由美子 委員、木村 伸之 委員、亀澤 ますみ 委員（欠席；新倉 美和子 副委員長、長久 裕 委員、増田 芳夫 委員、門倉 久美子 委員、村田 静 委員、村田 愛 委員） 事務局：保健福祉部次長兼福祉事務所長 柳田 信英、子育て支援課長 杉村 俊夫、教育指導課児童育成担当課長 加藤 展子、子育て支援課主幹兼保育係長 波多野 美浩、保育係主事 片山 考人 傍聴者：1 名
1 開 会 2 保健福祉部次長兼福祉事務所長あいさつ 3 議 題 ※ 傍聴の申し出が 1 名からあったため、傍聴の可否について議題の前に委員長から委員に諮り、了承された。 （1）ニーズ調査結果の中間報告について ・ 別紙資料に基づき事務局から説明した。 ※ 調査については、前回会議にて就学前児童・就学児童とも住民基本台帳からの抽出調査にて行う旨説明したが、会議後、市民の方々や議員等からもっと幅広く意見聴取をすべきではないかとの意見が多く寄せられたため、就学前児童については全世帯、就学児童については市内各全小学校から各学年 1 クラスずつを対象に行うこととした。 【質疑応答】 ・ 回収率が全体で 52.8%とのことだが、この数字は妥当なのか。（委員） → 次世代育成支援行動計画策定時の調査回収率を上回っている。統計的にも妥当と考えている。（事務局） ・ 今後の集計や保育需要の積算はどのように行っていくのか。（委員長） → 基本的には国の示した集計方法によっていくが、特に算出してほしいクロス集計の方法などがあれば、事務局まで連絡してほしい。（事務局）	

(2) その他

- ・ 今日認定こども園を視察でき、実態が分かって大変良かった。議論を深めるためにも、ぜひ学童保育も見学してもらいたい。(委員)
 - 市内には22か所の学童保育があり、設置運営の形態もさまざまである。まずは事務局でも現場をよく把握してから、会議として見学するようになりたい。(事務局)
- ・ ほかに、現場の姿が見えない施設はないか。(委員長)
 - あそびっ子クラブというのはどういう事業か。(委員)
 - 市内全小中学校で実施している、放課後の居場所づくりのための事業である。内容については、実際に子どもたちに接するパートナーによってかなり異なる。(事務局)
 - 事故が起きた場合、誰が責任を取るのか。(委員)
 - 市の事業であるため、市が負う。(事務局)
- ・ 先日発生した不審者の事案では、情報提供が遅かった。小学生の保護者には迅速に情報提供があったと聞いている。きちんとした連絡体制を作してほしい。(委員)
 - 情報提供は、警察の判断によるところが大きい。必要がある場合、警察から直接関係する各学校に通報があり、学校から市に連絡が来るため、どうしても情報が入るのが遅くなってしまう。入手した情報は、速やかに保育所や幼稚園に提供している。(事務局)
 - 警察と市で協議し、市にも直接情報提供をしてもらうことはできないのか。(委員)
 - 警察側の考えによるが、情報は基本的には必要最小限にしか流さないとのことである。(事務局)
 - 教育委員会を含め、市の内部での連絡体制も再検討してほしい。(委員長)

4 閉 会

- ・ 次回の会議は2月24日(月)午前10時からを予定している。(事務局)

以 上

※ 今回の会議は、委員及び事務局による県内の認定こども園の視察後に実施しました。